



下部消化管内科（内視鏡）

【診療科部長メッセージ】

下部消化管内科では大腸癌を中心とした大腸腫瘍の診断・治療に携わり、同時に大腸外科・消化器病理学の先生方とも常に連携を取りながら内視鏡業務に従事しています。2015年度の実績としては通常内視鏡検査 8830 件、内視鏡治療のうち、EMR/ポリペクトミー2222 件、ESD212 件と本邦でも類を見ない件数を連日こなし、かつ同時に関連学会、研究会でも指導的な立場で口演を行っています。内視鏡システムはすべてオリンパス社製 Lucera Elite を採用し、使用 scope もすべて拡大機能付き CF: HQ290ZI、PCF: H290ZI を使用しております。

従いまして、診療内容の中心は内視鏡業務で、全国各地から研修に来るレジデントに指導的な役割を担えると同時に、研究活動で積極的に教育できる中堅クラスの先生の応募に期待します。当然、増加の一途をたどる大腸癌の治療を精力的にこなす内視鏡医で人柄がよく、チーム医療を推進する先生と付け加えます。経歴、論文業績評価の書類審査、面接、仮採用による試用期間を経て正式採用になります。是非ともやる気のある豪傑な先生 1 名の応募をお待ちしています。

下部消化管内科 部長 斎藤 彰一